

# 目薬の正しいさし方

① まず手を石鹸と流水でよく洗い清潔な状態で点眼しましょう。

＜手には多くの雑菌が存在するためこれらの菌によって目や点眼液が汚染されないように点眼前の手洗いを指導します。＞

② 下まぶたを軽く引き、1から2滴を確実に点眼します。

この時容器の先がまぶたや睫毛に触れないように注意しましょう。



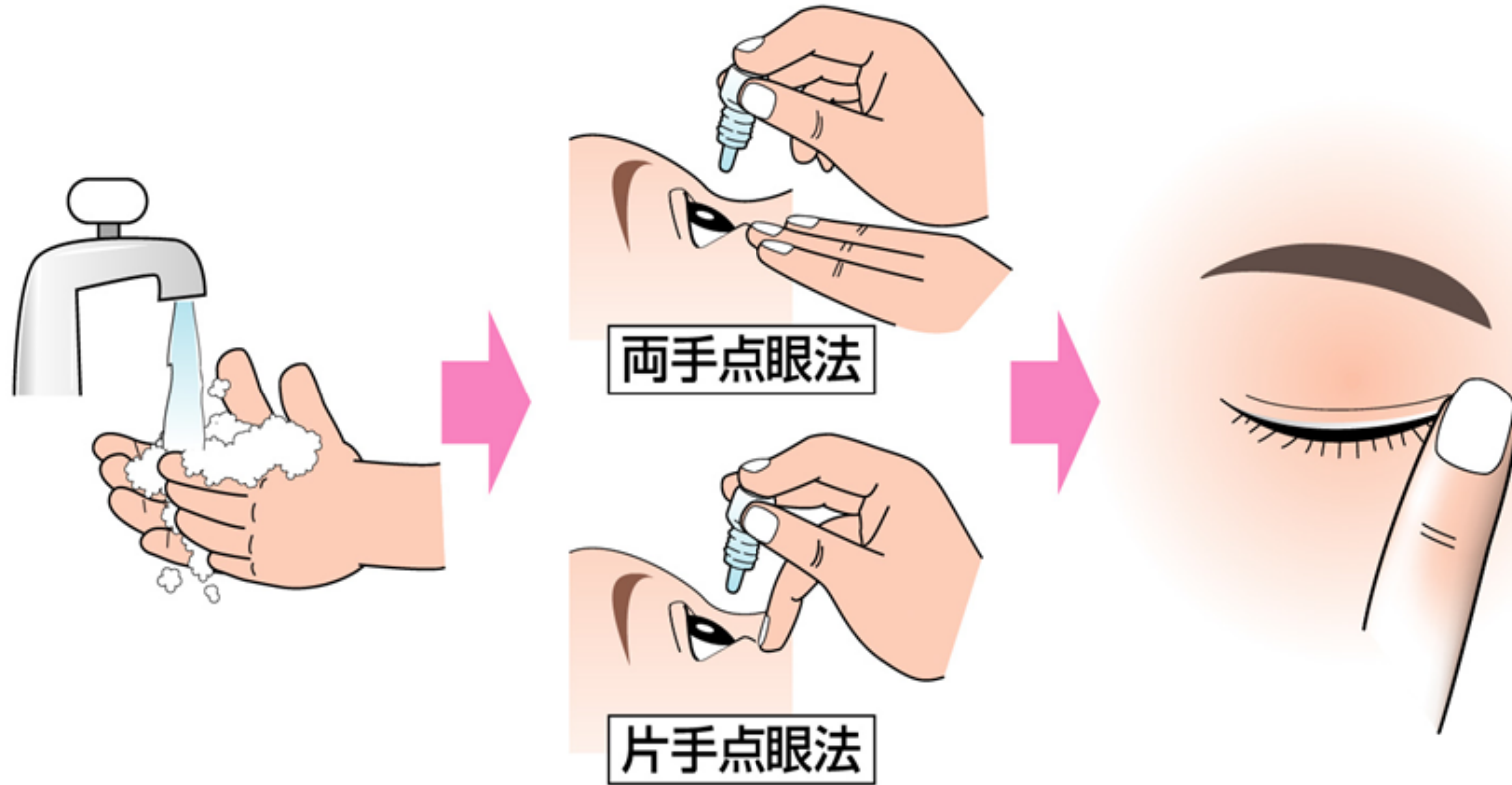
容器の先が目に触れると涙液が容器内に逆流し、点眼容器内の点眼液が眼脂などで汚染される恐れがあります。

「目薬がちゃんと入らないからといって目につけてさす方がいらっしゃいますがこれは目を傷つけたり、目薬が不潔になるますので離して点眼して下さい。」

③ 点眼した後は目を閉じ、目頭を1～5分間軽く押さえます。点眼後すぐにまばたきをすると、薬が涙点(目頭の部分にある目と鼻をつなぐ穴)を通過してのどの方に逃げてしまいます。口の中に苦味を感じるのはこのためです。

**意外に、**高齢者に限らず理解のよい患者さんでも「まばたきすると点眼液がよく行き渡る」と誤解しているケースが多いそうです。

# 点眼方法



- ① 容器の先が眼瞼・睫毛に触れないようにする
- ② 点眼後、閉瞼するか涙嚢部を軽く押さえる
- ③ 溢れ出た点眼液は拭き取る

# げんこつ法による点眼剤のさし方

**1** まず手をきれいに洗う。



**2** 左手の親指を中に入れ  
げんこつをつくる。



**3** 目の下にそのげんこつを  
あて、まぶたを下にひっぱる。



**4** 右手の親指、中指で容器の  
横を固定する。



**5** げんこつの上に  
右手をのせて、人指し指で容器の底を軽く押さえ、  
目薬を確実に目の中に落とす。

# 点眼剤が多剤処方されたときの注意点は？

- ④ 実際の臨床では2剤以上の点眼剤が同時に処方されることが多く、このような時、点眼間隔及び点眼順序が大切です。

(点眼間隔) 2種類以上の目薬を続けてさす場合は5分間程度間隔をあけて点眼してください。なぜか??

目薬が吸収されるのは少し時間がかかる

## （点眼順序）

- 特に医師の指示が出ている場合はその指示に従う。
- 原則としてよく効かせたい点眼剤を後に点眼する。
- 懸濁性点眼剤は水に溶けにくく吸収されにくいものもあり後から点眼する。
- 点眼液と眼軟膏の併用では眼軟膏は水性点眼液をはじくので後から点入する。
- 点眼後にゲル化する点眼液は後から点眼する。

⑤ あふれた点眼液は清潔なガーゼやティッシュでふき取って下さい。



あふれ出た点眼液は接触性皮膚炎の原因となることもある。